

世界規模での股関節 (HD) / 肘関節 (ED) 形成不全症検査実施導入、 DNA 検査及び個体識別実施／HD/ED 検査実施方針／WUSV 繁殖登録管理簿

1. 世界規模の HD/ED 及び DNA 検査実施、個体識別導入—2017 年中の具体的処置
予定されている世界的繁殖基準の調和を得るために、迅速な個体識別保障及び HD/ED
検査実施が基盤となる。

実施義務への移行期間の開始は 2017 年 7 月 1 日であり、2018 年 7 月 1 日以降は実施
が例外無く義務化される予定である。この基準を満たさない犬に関しては血統書相当へ
の、検査、施術実施の押印 (スタンプ) は不可能とする。DNA 解析に必要となるサン
プル採取には、ある程度の専門知識を有する為、専門研修会枠内にて伝授可能と考える。
研修実施に当たり「WUSV 大陸担当ディレクター」を関わらせることも考えられる。
誤情報提供防止の為、必須実施確認基準はいわば「四つの目 (2 名) で確認」である。
当面は、送付されてくる DNA サンプル貯蔵が単に予定されている。

国外の団体には、血液サンプル採取キット「GoCard (ゴー・カード)」が提供され、全
犬にマイクロチップ挿入と「GoCard」活用が義務化される。DNA 解析検査は該当犬の
繁殖が予定される、あるいは HD/ED 検査が実施される場合のみ実施される。血統書相
当への記載は「SV 検査済み認定印」によって押印される。

関連詳細情報が必要な場合、WUSV 本部事務局、ヘルガ・ザイデルにお尋ねください。

helgaseidel@schaferhunde.de

2. 股関節 (HD) / 肘関節 (ED) 形成不全症検査実施方針

レントゲン画像の一点集中評価化が予定されている。尚、レントゲン撮影自体は各国国
内で実地される必要がある。それには「認定レントゲン実施獣医師」を対象とする適切
な研修制度構築が WUSV 内に於いて不可欠である。適切なレントゲン画像撮影教育の
一環として研修実施が予定されており、ドイツ国内又は他国国内にて受講選択可能とす
る予定である。

自発的な HD/ED 検査実施は 2018 年 1 月 1 日より開始され、2018 年 7 月 1 日からは
義務化される。事前研修を修了した獣医師によるレントゲン実施のみが認められ、すべ
てのレントゲン画像の評価は、ドイツ・ギーセンの研究所にて実施される予定である。
安定したレントゲン画像品質が見られない場合、認定レントゲン実施獣医師としての資

格剥奪もありうる。レントゲン撮影はデジタル式で実施されるべきである。4年に一度、認定レントゲン実施獣医師資格の更新が予定されている。

現行の締結済みレントゲン評価契約は維持されるが、中期的目標としてはギーセン研究所に一括委託が予定されている。4年に一度、評価員のコンセンサス会議参加を義務とする。

提出されるレントゲン画像の品質不足の他、不規則性が多発した場合、警告後、該当評価員との契約早期解除も可能とする。

WUSV は関連する各契約を各 WUSV 加盟団体と締結し、事業実行は SV が担う。

3. WUSV 繁殖登録管理簿一段階実行計画／繁殖規則の世界的調整（付録 2）

前記説明、各段階的に実施予定される処置の実施により WUSV 繁殖管理登録簿が効果を発揮するでしょう。この特別認定により認定された犬は、最新の繁殖基準に則り繁殖された証となり、示された血統情報は明確に保障されることを可能にする。そして、設定繁殖前提条件との関連付け（マトリックスを参照）により、初めて世界規模での統一基準化された基盤の元、十分な使役性能を有するドイツシェパード犬繁殖目的達成が保障される。

・何時からどんなサービスが提供されるか

2018年1月1日より前記取組みは任意で行われ、2018年7月1日からは WUSV 繁殖登録管理簿導入は義務化される。

・証明書又はアネックス（付録）

各血統書内容が WUSV によって確認され、各加盟団体間の相互認知が基本前提条件となる。WUSV 証明書は例えば FCI 血統書アネックス（付録）としての役割を担うことが考えられ、4世代データを含む必要がある（近親繁殖情報は第五世代も表記される）。品質保証となる「WUSV 証明印」の付与も可能とする。

・「WUSV 血統書」

特に現行 FCI 非加盟国、あるいは、血統書発行が困難な又は意図的に発行しない国に於いて「WUSV 血統書」発行が可能とされる。